

在ナミビア大使館よりナミビア危険情報の改訂について

ナミビアにお住まいの皆様へ
たびレジに登録の皆様へ

在ナミビア日本国大使館

【ポイント】

12月26日付けにて、外務省海外安全ホームページ内のナミビアの危険情報を改訂しましたのでお知らせ致します。

【本文】

ナミビアの危険情報【危険レベル継続】（内容の更新）

【危険度】

●東カバンゴ州（旧カバンゴ州）北部，西カバンゴ州（旧カバンゴ州）北部，及びザンベジ州（旧カプリビ州）
：「レベル1：十分注意してください。」（継続）

【ポイント】

●国境地帯では，不法移民の流入，車両の盗難，麻薬や銃器の違法取引，密猟等の犯罪が発生していますので，特に注意してください。

☆詳細については，下記の内容をよくお読みください。

1. 概況

（1）ナミビアは政治的に安定しており，治安も比較的良いとされていますが，貧困と高い失業率により，雇用機会と現金収入を求めて地方から都市部へ人口が流入しており，特に首都ウィントフックでは不法居住者地域が毎年拡大しています。ナミビア政府は，公的機関の汚職防止対策とともに，犯罪防止に積極的な取組を行っていますが，都市部のみならず地方都市における一般犯罪の発生は増加傾向にあり，特に最近は暴力犯罪が増えてきています。

（2）国境地帯では，不法移民の流入，車両の盗難，麻薬や銃器の違法取引，密猟等の犯罪が報

告されています。特に東カバンゴ州や西カバンゴ州（両州とも旧カバンゴ州）の北部、ザンベジ州（旧カプリビ州）ではアンゴラからの不法入国者が増加しており、ナミビア政府関係当局とアンゴラ政府関係当局は、国境地帯における犯罪抑止のために協力して取り締まりを強化しています。また、ボツワナとザンビア国境では、象やサイの密猟が多発しており、ナミビア政府を含めた関係国当局が警戒を強めています。

（３）ナミビアを訪れる外国人観光客も年々増加しており、外国人旅行者を狙った犯罪も発生しています。旅行者が最も多く被害に遭う地域であるウィントフック、スワコップムンド、ウォルビスベイ等の観光地においては十分な注意が必要です。

（４）これまでに、ナミビアにおいて日本人・日本権益を直接標的としたテロ事件は確認されていませんが、近年、シリア、チュニジア及びバングラデシュにおいて日本人が殺害されたテロ事件や、パリ、ブリュッセル、イスタンブール、ジャカルタ等でもテロ事件が発生しています。このように、世界の様々な地域でイスラム過激派組織によるテロがみられるほか、これらの主張に影響を受けた者による一匹狼（ローンウルフ）型等のテロも発生しており、日本人・日本権益が標的となり、テロを含む様々な事件の被害に遭うおそれもあります。このような情勢を十分に認識して、誘拐、脅迫、テロ等に遭わないよう、また、巻き込まれることがないように、海外安全情報及び報道等により最新の治安・テロ情勢等の関連情報の入手に努め、日頃から危機管理意識を持つとともに、状況に応じて適切で十分な安全対策を講じるよう心がけてください。

２．地域別情勢

東カバンゴ州（旧カバンゴ州）北部、西カバンゴ州（旧カバンゴ州）北部及びザンベジ州（旧カプリビ州）

：「レベル１：十分注意してください。」（継続）

アンゴラとの国境付近にある東カバンゴ州や西カバンゴ州（両州とも旧カバンゴ州）の北部及びザンベジ州（旧カプリビ州）では、アンゴラ全面独立民族同盟（UNITA）とアンゴラ政府軍が2002年4月に停戦合意する以前、越境してきたUNITAとみられる侵入者による食料略奪や通行車両への襲撃があったほか、UNITAの対人地雷による被害もありました。同停戦後はアンゴラ情勢の安定化によって両国間の国境地帯の安全性は改善され、また、ナミビア政府が地雷や不発弾の除去活動を進めた結果、最近は被害の発生は報告されておらず、観光業や商業活動も回復しましたが、これら3州では、時折、地雷や不発弾が発見されています。

同地域への渡航を予定されている方は、十分注意を払い、渡航する場合には、日中の移動のみとし、自動車を利用して主要幹線道路のみを通行するなど十分な安全対策をとってください。

３．滞在に当たっての注意

(1) 滞在中は上記の情勢に十分留意して行動し、危険を避けるようにしてください。また、日本国外務省、在ナミビア日本国大使館及び現地関係機関等から最新の情報を入手してください。また、旅行中に、パスポートの盗難に遭った場合は、旅行日程の変更が不可避となりますので十分注意してください。万一、事件・事故等に巻き込まれた場合には、在ナミビア日本国大使館に連絡してください。

ア 首都ウイントフック及び周辺では、交通事故による死傷者が多い上、強盗、暴行、窃盗、スリ、ひったくり等の一般犯罪も発生していますので、十分注意してください。特にダウタウンや首都北西部のカツツラ (Katutura) 等のタウンシップの貧困層が多く住む地区には立ち入らないようお勧めします。

イ 日本人旅行者が被害に遭った事例としては、現金を ATM から引き出した直後に盗難された事件、ATM の操作方法を教えるふりをした者に現金を盗み取られた事件、路上でナイフ強盗に遭遇しバッグを強奪された事件、店内でスリ・グループによる携帯電話と財布を盗難された事件、観光スポットでグループ強盗に貴重品を強奪された事件が発生しています。パスポートの盗難に遭った場合には、パスポートが再発行されるまでに時間がかかることから、旅行日程や航空便の変更を余儀なくされることがありますので、こうした犯罪被害に遭わないよう十分注意してください。

ウ ホテル滞在中に外出する際は、貴重品（パスポートを除く）をホテルの金庫に預ける等、所持品の管理には十分注意してください。ホテルに金庫がない場合は、パスポート、航空券、現金、クレジットカード等を分散して携行するなどの対策をとることをお勧めします。通りを歩くときは周囲の状況に常に注意を払うようにし、また、多額の現金を所持したり、首からカメラをぶらさげるといった、一見して観光客と分かる格好は避けてください。

エ ツアーに参加している場合でも、自分の荷物には常に注意を払い、パスポート、航空券、現金、クレジットカード等の貴重品をツアーバス内に置いたまま座席を離れることは避けてください。タクシー等を利用する際にはホテルや観光局などで信頼できる業者を確認した上で、利用するようにしてください。

オ ウイントフックでは、特に ATM から現金を引き出す際の強盗事件や ATM の操作方法を教えるふりをして現金を盗み取る事件が頻発しています。ATM で現金を引き出す際は、他人が近くにいないことを確認し、また、見知らぬ人物からの手助けを申し出られた場合には十分注意してください。

カ レストランや商店等においてクレジットカードで代金を精算する際にカード情報を盗むス

キミングの犯罪も多発しています。クレジットカードで精算する場合は、安易に店員等にカードを渡さず、精算機の目の前で精算に対応し、スキミングをされないよう注意してください。

キ 女性や子供に対する暴力事件や強姦事件の増加が報告されていますので、女性の一人歩きや人通りの少ない場所は避ける等、犯罪に巻き込まれないよう十分注意してください。

ク ナミビアの道路事情は、幹線道路を中心に、一車線が多く、スピードの出し過ぎ、無理な追い越し等を原因とした交通事故が多発しています。過去に、レンタカーを利用した日本人旅行者が十分舗装されていない道路での交通事故により死亡した事案、乗車したタクシーと反対側からの追い越し車両との衝突により死亡した事案、また、路上にいた家畜をよけきれず車両が横転し負傷した事案があります。特に舗装されていない道路でのスピードの出し過ぎは行わないなど、運転には十分注意してください。

ケ ナミビアで十分な治療を受けられる医療機関は限られており、その医療費は高額ですので、事前に緊急移送も含めた十分な補償内容の海外旅行保険に加入することをお勧めします。ちなみに、クレジットカード付帯の保険では補償金額が十分でない場合が多いため、症状が重い場合には自己負担額が極めて高額になることがあります。

(2) 短期渡航者向け注意事項

在留届の提出義務のない3か月未満の短期渡航者の方（海外旅行者・出張者を含む）は、外務省海外旅行登録「たびレジ」への登録をお願いします

(<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>)。「たびレジ」に渡航期間・滞在先・連絡先等を登録すると、滞在先の最新の安全情報がメールで届き、緊急時には在外公館からの連絡を受けることができます。安全情報の受け取り先として、家族・同僚等のメールアドレスも追加登録できますので、併せてご活用ください。

(3) 長期滞在者向け注意事項

現地に3か月以上滞在される方は、緊急時の連絡などに必要ですので、到着後遅滞なく日本国大使館に「在留届」を提出してください。また、住所その他届出事項に変更が生じたとき、又は日本への帰国や他国に転居する（一時的な旅行を除く）際には、必ずその旨を届け出てください。在留届の届出は、在留届電子届出システム（ORR ネット、<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet>）による登録をお勧めしますが、郵送、ファックスによっても行うことができますので、最寄りの在外公館まで送付してください。

4. 隣国の南アフリカ、アンゴラ、ザンビア及びジンバブエの危険情報にも御留意ください。

(問い合わせ先)

○外務省領事サービスセンター

住所：東京都千代田区霞が関 2-2-1

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 2902, 2903

(外務省関係課室連絡先)

○外務省領事局海外邦人安全課 (テロ・誘拐関連を除く)

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 2306

○外務省領事局邦人テロ対策室 (テロ・誘拐関連)

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 3047

○外務省 海外安全ホームページ：<http://www.anzen.mofa.go.jp/> (PC版)

<http://www.anzen.mofa.go.jp/sp/index.html> (スマートフォン版)

<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp> (モバイル版)

○在ナミビア日本国大使館

住所：78 Sam Nujoma Drive, Klein Windhoek, Windhoek, Republic of Namibia

電話：(市外局番 061) 426-700

国外からは(国番号 264) 61-426-700

FAX：(市外局番 061) 426-749

国外からは(国番号 264) 426-749

ホームページ：http://www.na.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html